

2022年度第3四半期 決算説明資料

1. 2022年度第3四半期

- i. 決算概要
- ii. 事業別概況

2. 2022年度通期業績見通し

1. 2022年度第3四半期

i. 決算概要

第3四半期連結決算ハイライト

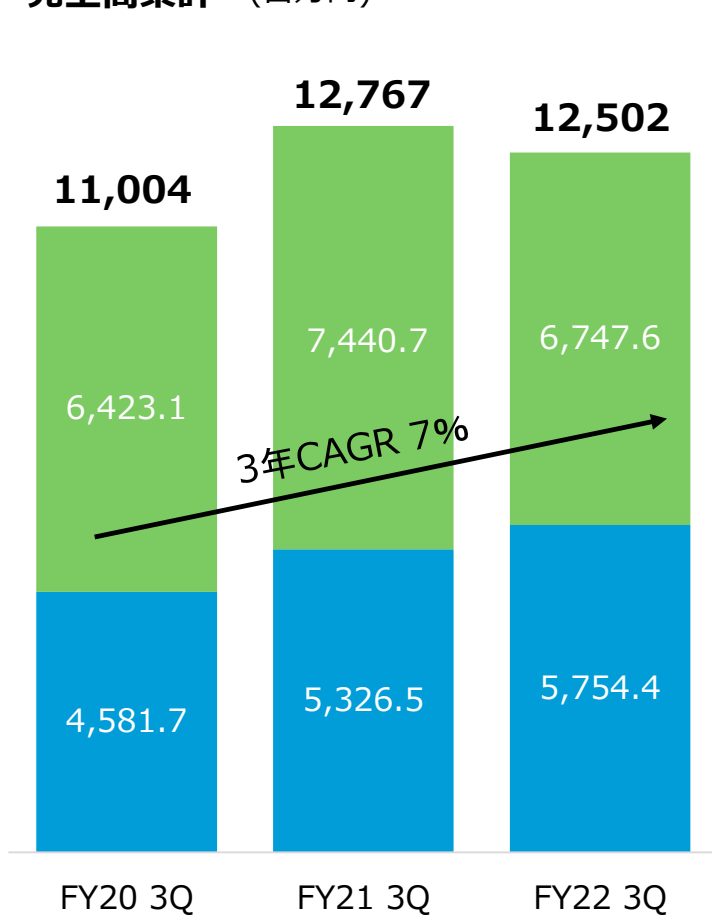
- 受注高・受注残は前年同期を上回り安定推移
- 3Q計上予定の案件が期ずれしたため減収、開発原価削減により利益は計画通りの進捗

(百万円)	21年度 3Q累計			22年度 3Q累計		
	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
売上高	12,767	100.0%	+16.0%	12,502	100.0%	△2.1%
売上総利益	4,552	35.7%	+25.4%	4,715	37.7%	+3.6%
販管費	2,218	17.4%	△5.7%	2,564	20.5%	+15.6%
営業利益	2,334	18.3%	+82.4%	2,150	17.2%	△7.9%
経常利益	2,412	18.9%	+74.8%	2,227	17.8%	△7.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,613	12.6%	+62.6%	1,514	12.1%	△6.1%
受注高	11,951	—	△9.5%	12,300	-	+2.9%
受注残	13,712	—	△9.1%	14,853	-	+8.3%

売上高の状況

- システム開発・販売は外部環境により計上予定の案件が期ずれし減収
- リカーリングが順調に増加し、全体では前期比2%減収

売上高累計 (百万円)



システム開発・
販売

- 引き続き金融機関を中心に、非対面化システムの売上が安定推移
- 「iRTISpay決済ターミナル」は半導体不足による納期遅延のため売上計上は4Qにずれ込み
- 自治体システムの標準化対応開始までシステム導入は停滞

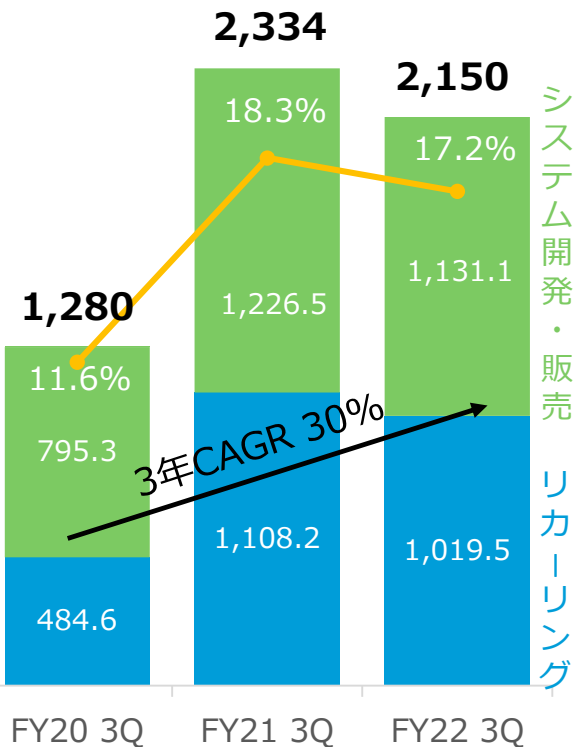
リカーリング

- BPOは一部既存案件の期間満了、新規契約でカバーするも前期比減収
- クラウド、保守サービスは安定的に増収、BPOをカバーしリカーリング全体で増収

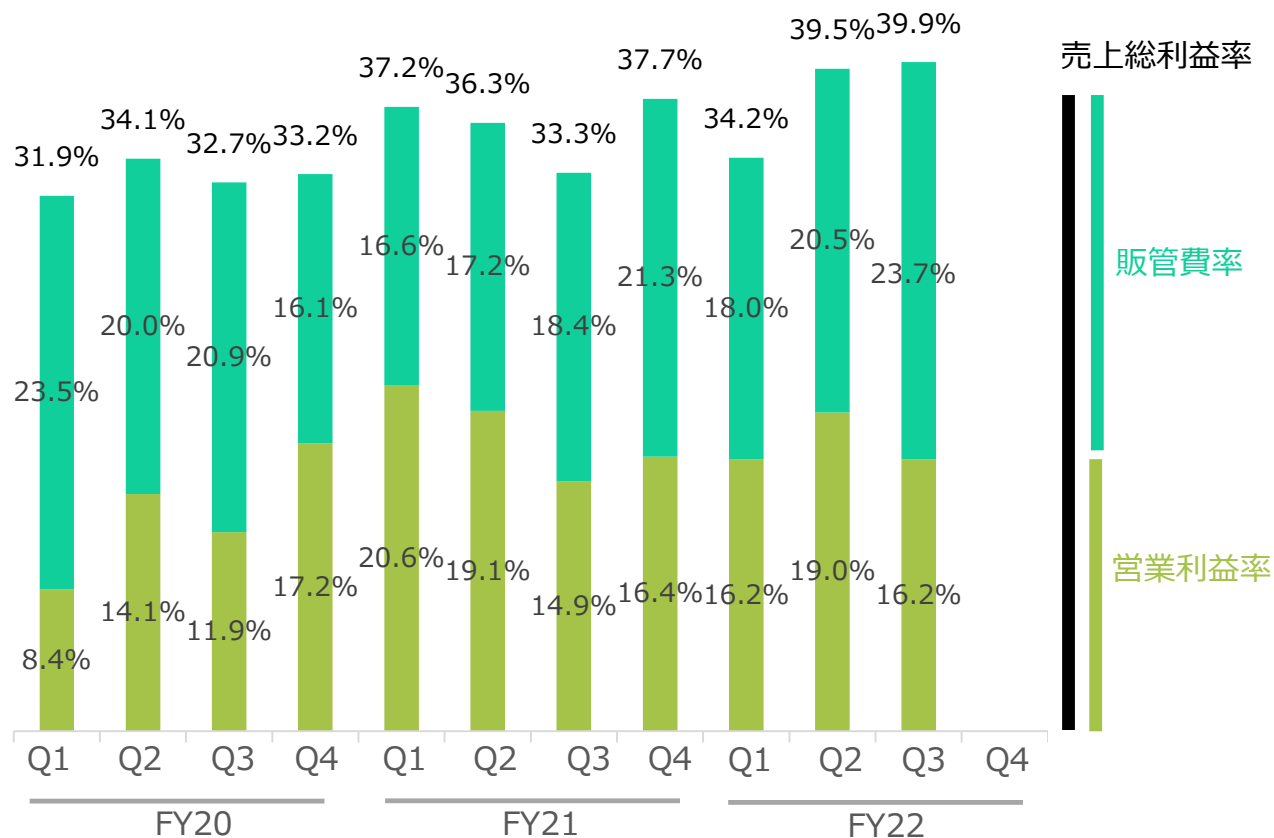
営業利益の状況

- コロナ規制緩和で営業活動活発化、人財投資・社内基盤強化による経費増
- 開発原価削減で吸収、営業利益は計画通り進捗

営業利益累計 (百万円)
営業利益率推移



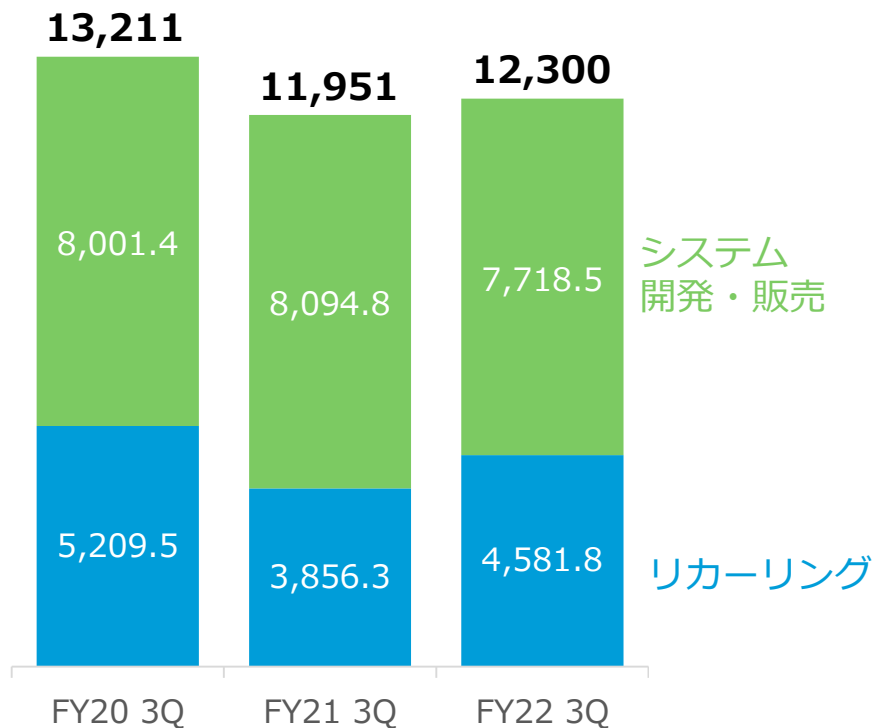
四半期毎の推移



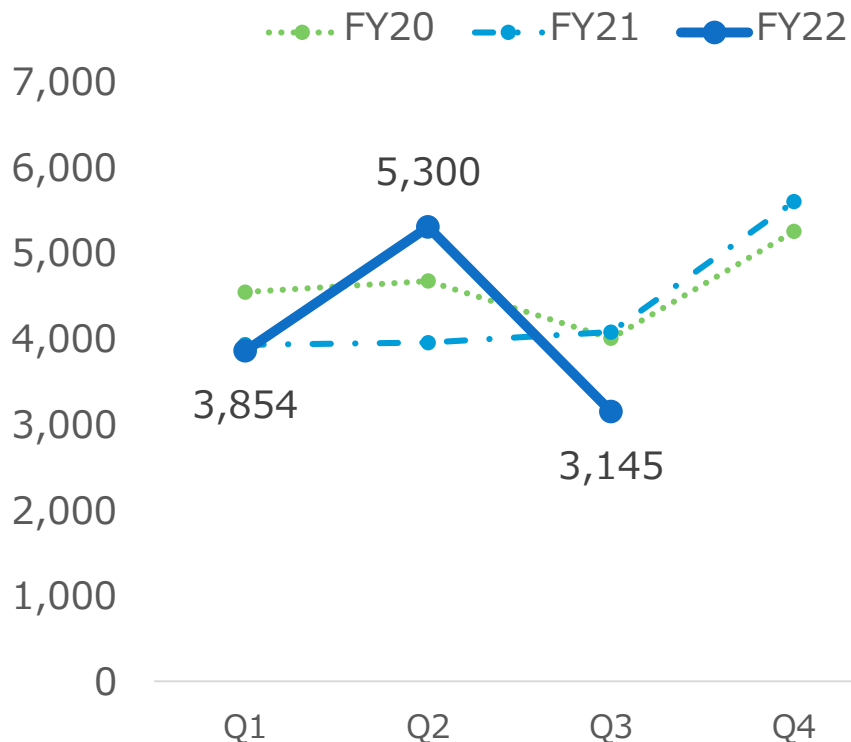
受注高の状況

- 前期の決済端末確保に向けた前倒し受注の反動で減少、分割案件の後工程早期受注で挽回見込む
- グループ会社でのBPO受注が大幅増

受注高累計 (百万円)



四半期毎の推移 (百万円)



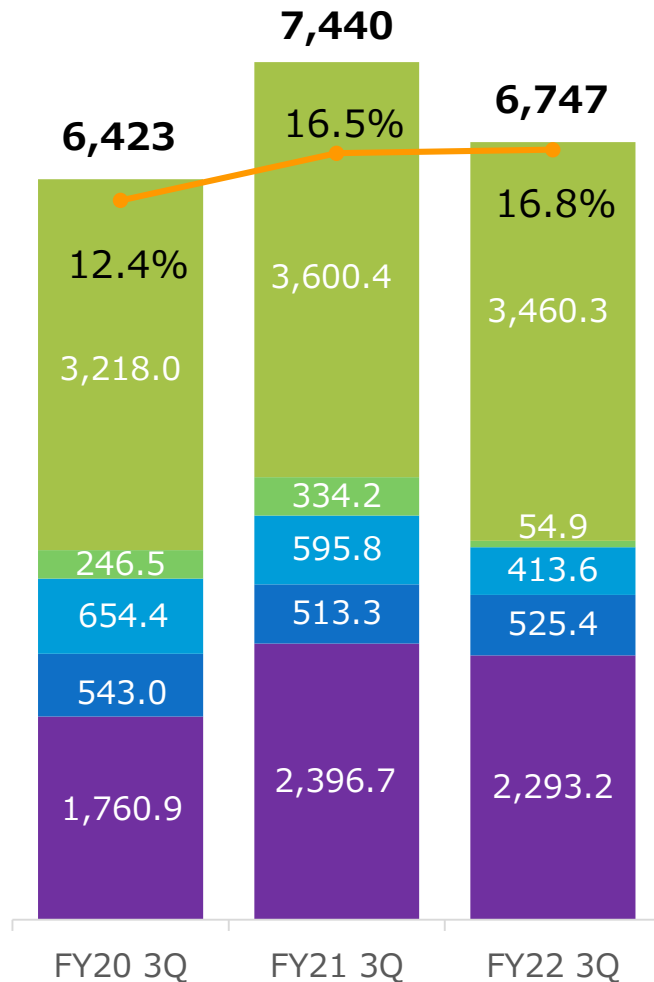
1. 2022年度第3四半期

ii. 事業別概況

システム開発・販売セグメント: 概況

分野別売上高（累計）と営業利益率

(百万円)



フィナンシャル
システム

- ・ 債権管理システムやWeb受付システム「Welcome」は引き続き安定推移
- ・ 一部案件スケジュールが遅延

公共
システム

- ・ 自治体システムの標準化対応開始までシステム導入は停滞

流通EC
システム

- ・ ECシステムは低迷したものの、流通システムは地方百貨店向けに基幹システム「RITS」が好調に推移

CTI
システム

- ・ ノンバンクを中心にロボティックコールの販路拡大

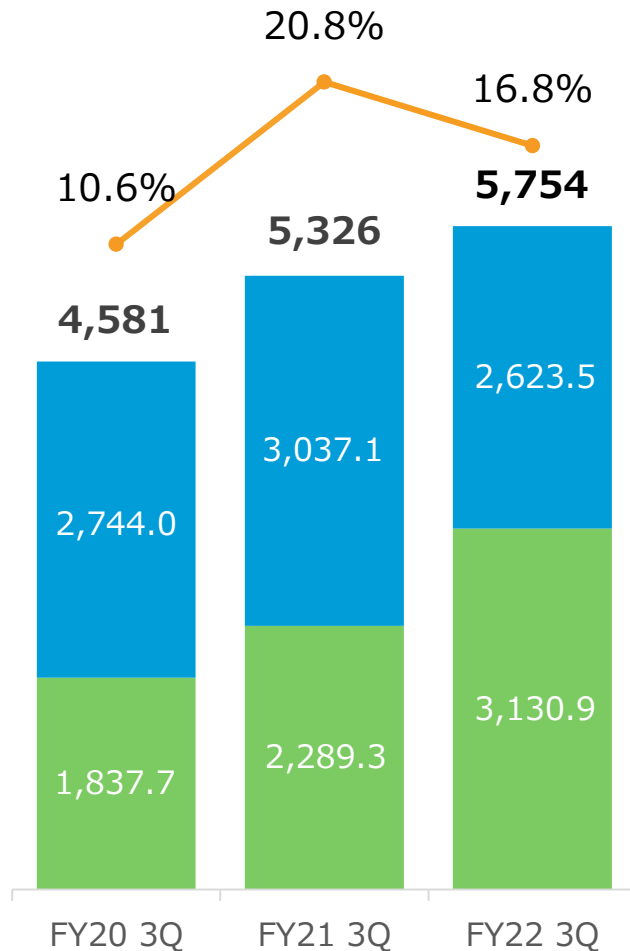
通信
決済
その他

- ・ 決済端末の半導体不足の影響で、出荷が4Qにずれ込み

リカーリングセグメント: 概況

分野別売上高（累計）と営業利益率

(百万円)



BPO

- 一部既存案件の期間満了により減収
- 新規案件の立ち上げにかかる初期費用がかさみ利益率は低下

保守・利用料

- システム稼働が増加し安定的に増収

2. 2022年度通期業績見通し

2022年度 連結業績見通し

■ 期初の計画から変更なし

(百万円)	2021年度実績			2022年度計画		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	17,021	100.0%	+4.5%	18,500	100.0%	+8.7%
売上総利益	6,156	36.2%	+14.3%	6,475	35.0%	+ 5.2%
販管費	3,125	18.4%	△ 2.3%	3,600	19.5%	+15.2%
営業利益	3,031	17.8%	+38.6%	2,875	15.5%	△5.1%
経常利益	3,106	18.3%	+34.0%	2,941	15.9%	△5.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,112	12.4%	+25.5%	1,943	10.5%	△8.0%
受注高	17,548	-	△ 4.9%	20,000		+14.0%
受注残	15,055	-	0.0%	16,555		+10.0%

参考：プレスリリース一覧（1）

4月

コーポレート

2022年4月4日付で、東証プライム市場へ市場変更

公共

自治体向け事業において日澤邦幸氏と専属コンサルティング契約

5月

新規事業

日本初 自治体での運用を想定したデジタルtoデジタルの社会実験を本格開始

コールセンター

NICE社のバーチャルアシスタント「NEVA」があいおいニッセイ同和損害保険様の緊急サポートデスクのCXをサポート

6月

通信・基盤

光ファイバーコストを半減可能とするRAD社製「BiDi QSFPアダプター」を販売開始

コールセンター

ゲートファーム様がNICE社製「CXone」を採用

7月

金融機関

西京銀行様が住宅ローン申込みWeb受付「WELCOME」を導入

新規事業

デジタルサービス事業および決済代行事業などを行うシディを設立

参考：プレスリリース一覧（2）

8月

通信・基盤

東京都「中小企業サイバーセキュリティ対策強化緊急サポート事業」を受託

9月

キャッシュレス決済

tance様と提携し、同社の店舗向けプラットフォーム「tance mall」にマルチ決済端末「iRITSpay決済ターミナル」が接続

金融機関

多摩信用金庫様が住宅ローン申込みでWeb受付「WELCOME」を導入

10月

金融機関

名古屋銀行様が個人ローン業務支援システム「SCOPE」を本格稼働

コーポレート

「ResorTech EXPO 2022 in Okinawa」への出展のお知らせ

12月

コーポレート

サステナビリティ経営強化に向け新体制発足

コーポレート

事業拡大を見据え東京本社オフィスを拡張～個を磨き、繋げる、次の、次の未来へ～

金融機関

南都銀行様が日本IBM社様と当社が共同開発した住宅ローンWEBサービスを稼働

情報開示への取り組み

「日興アイ・アール 2022年度上場企業
ホームページ充実度ランキング調査」で
初めて優良サイトに選定



「Gomez IRサイトランキング2022」で
初めて銅賞を受賞



環境への取り組み

本社12階オフィスのリニューアルに際
して環境に配慮した建築資材を使用し
環境負荷低減に取り組みました

環境負荷低減効果

- リサイクル原料使用量
…約2,623kg
- 温室効果ガス排出削減量
…約1,877kg





- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、当社がその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。したがって、本資料のみに依拠して投資判断されることはお控えください。
- 本資料内の情報によって生じた影響やいかなる損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で複製・転載を行わないようお願いいたします。